

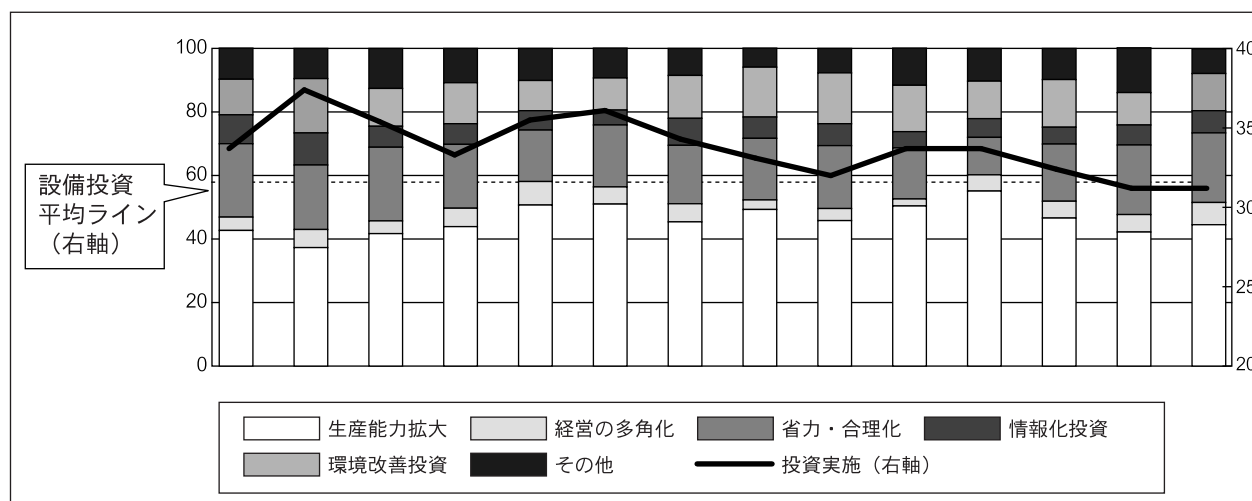
VI. 設備投資動向

設備投資の有無

種別	(%)														見込	予測
	16年				17年				18年				19年			
	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月		
投資実施	33.7	37.4	35.4	33.3	35.5	36.1	34.3	33.1	32.0	33.7	33.7	32.4	31.2	31.2		
投資せず	66.3	62.6	64.6	66.7	64.5	63.9	65.7	66.9	68.0	66.3	66.3	67.6	68.8	68.8		

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	42.7	37.3	41.7	43.9	50.7	51.0	45.4	49.3	45.8	50.4	55.1	46.6	42.2	44.5
経営の多角化	4.2	5.7	4.0	5.8	7.4	5.4	5.7	3.0	3.8	2.2	5.1	5.3	5.5	7.0
省力・合理化	23.1	20.3	23.2	20.1	16.2	19.5	18.4	19.4	19.8	16.1	11.8	18.0	21.9	21.9
情報化投資	9.1	10.1	6.6	6.5	6.1	4.7	8.5	6.7	6.9	5.1	5.9	5.3	6.3	7.0
環境改善投資	11.2	17.1	11.9	12.9	9.5	10.1	13.5	15.7	16.0	14.6	11.8	15.0	10.2	11.7
その他	9.8	9.5	12.6	10.8	10.1	9.4	8.5	6.0	7.7	11.7	10.3	9.8	14.1	7.8



- (1) 18年10-12月に設備投資を実施した企業は全産業の32.4%であり、14期連続で30%を上回った。18年10-12月期実績を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は39.4%、非製造業は25.8%となっている。

18年10-12月期に設備投資を実施した企業の投資目的は、生産・販売能力拡大が46.6%でトップ、省力・合理化投資が前期比6.2ポイント増の18.0%で続いた。

- (2) 19年1-3月期に設備投資を予定している企業は全体の31.2%で、平成12年以降の平均31.8%を下回った。設備投資の目的では18年10-12月期同様、省力・合理化投資が増加する傾向が見られる。
- (3) 18年10-12月期において設備投資実施企業の割合が50%を超えたのは、繊維・出版印刷紙加工・機械工具販売業であった。また、2期連続50%を超えたのも繊維・出版印刷紙加工業・機械工具販売の3業種となっている。